

# 手賀沼通信

2005・11

第 23 号

編集・発行 美しい手賀沼を愛する市民の連合会

〒270-1146 千葉県 我孫子市高野山新田 1 9 3 千葉県手賀沼親水広場気付

## 美手連平成 17 年度総会開催される

### 【総会報告】

6月5日(日)千葉県手賀沼親水広場・水の館研修室において、平成17年度の連合会総会が開催されました。

連合会が発足して10周年を迎えるにあたり、来賓に千葉県環境生活部水質保全課・岡部湖沼対策室長、吉橋千葉県手賀沼親水広場所長、柏市環境保全課・坂巻主幹、印旛沼環境団体ネットワーク・大田代表を迎えて始まりました。

最初に、田口会長のあいさつがあり、「湖沼の水質浄化にとどまらずに、生き物が安心して住める環境になるようにしていきたい。」という提起がありました。

議事に入り、先ず、平成16年度の事業・決算・会計監査報告が議案通り承認されました。新しい試みとして始まった、連合会が会員団体に内容審査のうえ支給する「手賀沼基金」については、審査内容に再考を求める意見が出され、今後の理事会の議論

に委ねられることになりました。

次いで、会員の入退会(退会:「古利根の自然を守る会」、入会:「大津川をきれいにする会」)が報告されました。総会時点での会員数は23です。

最後に、平成17年度事業計画および予算の提案があり、原案通り承認されました。

### 【講演 『古利根の自然を守る会』の歩み】

総会終了後、古利根沼が開発業者の手を離れて我孫子市のものになったのを受けて、16年以上にわたって沼を開発業者から守ることを中心に、環境保全活動を続けてきた「古利根の自然を守る会」の事務局長・古谷一広さんに記念講演をしていただいたので、その概要を紹介します。

### 古利根を巡る開発と保全の経緯

- 1930年 利根川河川改修工事で「古利根沼」誕生。「廃川」として、我孫子・取

### 目次

美手連 平成17年度総会 開催される .....	1
手賀沼水質浄化対策協議会 総会 手賀沼水環境保全協議会と改名 .....	3
手賀沼水環境保全協議会 専門委員会 新たな委員会名で新年度会議.....	3
手賀沼基金 まごつきながらの助成事業 .....	4
水生植物の再生事業について ~手賀沼浄化事業連絡会議新規事業~ .....	4
市民が水質調査をするということ (寄稿) .....	5
まだ、ひよこの「大津川をきれいにする会」です ...どうぞよろしく .....	7
創立25周年を迎えた 我孫子の文化を守る会 .....	8

手両地域へ払い下げ。

- 1980年 我孫子市と廃川組合（我孫子市側地権者）で「土地賃貸借契約」。
- 1981年 我孫子市が廃川組合所有分の67分の2（約1400坪）買収（約1200万円）。
- 1984年 廃川組合と開発業者で開発申請（返戻）。我孫子市議会で開発反対決議。
- 1988年 開発業者「協和開発」が沼買収（67分の65 約9億5千万円）。開発申請。
- 「古利根の自然を守る会」発足。沼が「利根川百景」に選ばれる。
- 1989年 沼が「茨城自然100選」に選ばれる。協和開発の開発申請返戻。協和開発が売値35億円提示。
- 1991年 協和開発が沼を「研綜」に転売。千葉県知事古利根視察。
- 1992年 研綜が境界測量開始。
- 1993年 千葉県環境保全課が現地調査。我孫子市主催のクリーン活動開始。
- 1995年 千葉県知事古利根視察。
- 1996年 我孫子市、周辺緑地の一部（1.2ヘクタール）買収。
- 1997年 我孫子市、「古利根沼周辺整備構想」作成。
- 1998年 我孫子市、周辺緑地の一部（1.1ヘクタール）財務省より払い下げ。（3分の1は無償貸与）
- 1999年 第1回「古利根懇談会」開催。「古利根みどりのボランティア」作業開始。
- 2000年 「古利根自然観察の森 西地区」

オープン。

- 2001年 第2回「古利根懇談会」開催。
- 2004年 我孫子市、債務処理会社から沼買収。（16.2ヘクタール 4億3千万円）。「古利根自然観察の森 東・南地区」オープン。我孫子市、古利根沼買収費用目的の「市民債」公募。
- 2005年 我孫子市広報新年号で古利根特集。

#### 古利根の自然を守る会の取り組み

- 1988年 「古利根の自然を守る会」結成。（参加80名）。我孫子市との話し合い（解散まで約30回）。クリーン活動開始。「古利根だより」発行（2005年3月の会の解散まで続く）。
- 1989年 「利根川百景」,「茨城自然100選」応募取り組み。
- 1992年 「古利根自然ウォッチング」開始（2005年3月まで160回）。
- 1993年 ハンノキ幼木移植。取手市との話し合い（以後3回）。
- 1995年 我孫子産業祭りに出展（以後9回 緑の基金に約27万円寄付）。
- 1997年 「森作り」実験開始（以後緑のボランティア発足まで毎月1回）。
- 2000年 「我孫子市景観賞」受賞。
- 2002年 土曜観察会開始（2005年3月まで29回）。

1988年～2005年 会報、レポート、ガイドブックにより、古利根周知活動を行った。

（川俣忠紀 記）



総会風景

## 手賀沼水質浄化対策協議会 総会で 手賀沼水環境保全協議会と改名

平成17年7月22日(金)午後2時から千葉県手賀沼親水広場・水の館研修室で手賀沼水質浄化対策協議会の総会が開催され、私ども連合会からは4名が参加した。

この協議会は千葉県知事をはじめ、柏市、我孫子市他流域の8市村の首長、手賀沼と木下土地改良区の各理事長、手賀沼漁協理事長・我孫子手賀沼漁協組合長等と肩を並べて、私ども連合会から会長の田口が市民を代表してただ1人出席して、合計14名の構成員からなる協議会です。

この会議には上記の構成員の他に流域から選出された21名の県議会議員、流域市村の議会議長8名が顧問として、国土交通省利根川下流河川事務所から2名が来賓として、更に県関係幹事29名、市村関連幹事8名、団体関連幹事5名が登録され、更に事務局と随行員を含めて、出席総数は

104名になる大きな会議であり、手賀沼の事を決めてきた大事な会議です。

議事は、会則の一部改正、事業報告と計画、歳入歳出決算と予算、役員改正、顧問の委嘱、宣言文の発表等と続けました。

会則の改正では、会の設置目的を水質改善だけでなく、水量回復や水辺の再生・保全も視野に入れた総合的な水環境の保全に向け、会名も『手賀沼水環境保全協議会』に改められました。また、従来の「手賀沼水循環回復行動計画」を水環境保全協議会の事業として位置づけるとともに、「水循環回復行動推進会議」を水環境保全協議会の『専門委員会』としました。

更に事業計画の中では、10月22日(土)に実施した第3回手賀沼統一クリーンデイの後援が決定されました。

(田口迪夫 記)

## 手賀沼水環境保全協議会 専門委員会 新たな委員会名で新年度会議

平成17年度第1回専門委員会は平成17年8月3日に千葉県手賀沼親水広場・水の館研修室で開催されました。

先ず、前項の手賀沼水環境保全協議会の総会で決議された当専門委員会設置の説明、続いて水循環回復行動計画の平成16年度実績と17年度事業計画が報告され、最後に協働調査の実施結果が報告されました。

組織名の変更については、長い歴史を持つ手賀沼浄化対策協議会も平成17年度から新たに手賀沼水環境保全協議会と名称を改め発足いたしました。浄化事業の成果の反映、現状の変化に良く対応出来るよう改めたものと思います。これらに伴い、独立していた手賀沼水循環回復行動推進会議もより効果的に活動できるように、手賀沼水

環境保全協議会の諮問機関・下部組織として手賀沼水環境保全協議会専門委員会として平成17年度から出発することになり、今回、第1回手賀沼水環境保全協議会専門委員会が開催された次第です。専門委員会は手賀沼水環境保全に係わる事項について総合的、又、専門的な検討を行うものとなっております。委員は、学識経験者・住民・事業者の代表者・利水関係者及び、関係行政機関の職員から28名選出され、住民代表からも4名が委嘱されました。

住民は学識経験者ではないので、多くのことをこの専門委員会で学び、総合的・専門的な考え方を身につけ、回復行動計画に生かすことが大切であると思います。又、随行者として一般住民の方も参加が認められておりますので多くの方が会

## 手賀沼基金

# まごつきながらの助成事業

『手賀沼基金』...お金のない私たちの連合会が会員に対し、いやそれ以外にも活動資金を助成しようと言う構想は、エコマラソンからの助成金を得てから考慮されだした。とにかく規定づくりを！と昨年4月から取り掛かり、6月の総会で概要説明をし、10月の理事会で基金委員の人選がされた。しかし、エコマラソンからの資金は手賀沼浄化に直接係る機材にのみ適応と言う枠がはめられ具現化は無理となった。

でも、会員団体からの要望も強く、本年1月の理事会で、手賀沼年表の売り上げ余剰金から50万円を手賀沼基金へ移し変えて、試行的に実施をすることになった。

初回は加盟団体だけに絞って助成申告を受け付けるべく、2月15日付で1件20万円以下として案内文を発送。期限を3月末日とした。期日までの応募は5団体からで、4.3万円～14万円の範囲であった。

続いて5月10日に型通りのプレゼンテーションを開催することとして、1団体15

分の持ち時間で、時間をずらした案内を送付した。この時点での迷いは身内同士の中だから甘い採点をするべきかということだった。申請書をよく読んでみると感覚的には優劣の差はつけられる内容だった。矢張り皆のお金を助成金という形で使うのだから、優劣の差があるのなら、その差は表に出すべきだと言う考えに変わった。

プレゼンテーション後の基金委員会でも同様の差異が認められ、2団体が不採用と保留となった。不採用団体は活動資金に困窮しているから申請と言う説明だったが、困窮脱却のためにこんな努力もしているとの訴えがあれば結果が変わったかもしれない。保留団体はその後の問答で研究者のための資金援助と分かり、対象が異なるため不採用となった。

私たち審査をする方もプレゼンテーションでの質問の仕方、採点の仕方等においてもまだまだ研鑽の余地のあることを自覚した最初の一步であった。(山木健一 記)

## 水生植物の再生事業について

～手賀沼浄化事業連絡会議新規事業～

千葉県環境生活部水質保全課

昭和40年代から、手賀沼の水質は流域の急激な都市化の進展に伴って著しく悪化し、昭和50年代には水質全国ワースト1湖沼として、その名が不名誉な形で広く知られるようになってしまいました。

このため、県と手賀沼流域の5市3町(当時)は、昭和57年3月に「手賀沼浄化事業連絡会議」を設置し、以後、水面清掃船によるアオコの回収やホテイアオイの植栽・回収などの事業を共同で実施することによ

って、沼の水質浄化を進めてきたものです。

その結果、下水道の整備や北千葉導水事業等の効果もあいまって、沼の水質は大きく改善され、近年では水質ワーストランキングからも「手賀沼」の名は消えました。

平成15年7月には、水質改善だけでなく水量や生態系の回復などにも目を向けた総合的な水環境保全のための取組として、「手賀沼水循環回復行動計画」が策定され、かつて手賀沼とその流域にあった美しく豊

かな環境の再生を目指しています。

このように、手賀沼の水環境保全対策は、これまで行われてきた、いわゆる公害対策的な水質浄化事業からの質的な転換を図り、積極的に健全な水循環の回復を目指すものになってきています。

県と流域7市で構成される「手賀沼浄化事業連絡会議」においても、こうした潮流を捉え、平成17年度から新規事業として「水生植物の再生事業」を実施することとなりました。

【本稿ではその概要を紹介します】

### 1 事業の概要

手賀沼流域の小中学校や市民団体などと連携し、かつて手賀沼に生育していたガシヤモク等の水生植物を再生することにより、健全な水辺の復活・再生を目指します。

### 2 事業内容の検討

事業の実施方法等について検討を行うため、新たに「水生植物再生事業検討会」を設置しました。この第1回の検討会を7月25日に我孫子市役所会議室にて開催しました。

当日は、蒸し暑い天候にもかかわらず、多くの方の御出席をいただきました。学識経験者としては、県立千葉高校の浅間茂先生、環境イーハトーブの会(元県水質保全研究所室長)の小林節子氏、県立我孫子高校の谷城勝弘先生、住民団体として、「かわ・水・みどり」から倉田智子氏、「手賀沼にマシジミとガシヤモクを復活させる会」か

ら星野保氏、山木健一氏、青木保雄氏、また、行政機関からは国土交通省利根川下流河川事務所、県関係各課及び流域各市町村担当者の出席を得て、検討が行われました。

育成・植栽する植物としてまず選定されたのは、手賀沼における象徴的存在ともいうべき「ガシヤモク」です。

浅間先生によれば、ガシヤモクは水槽内であれば簡単に育成できるとのことです。また、種苗についても浅間先生の勤務先である千葉高校に設けられたピオトープからの提供を申し出ていただきました。

初めての取組であるため、今後どのように展開できるか不明な点もありますが、今年度は概ね次のように事業を進めていくこととなりました。

流域の小中学校、市民団体に水槽に入れたガシヤモクの苗を配布する。

各学校、団体でガシヤモクを育成する。育ったガシヤモクを流域の適地に植栽する。

将来的には沼の水辺の植生帯にガシヤモクを復活させることを視野に入れる。

### 3 今後の進め方・検討事項等

育苗・植栽する植物の選定、小中学校・市民団体との連携方法、植栽適地の選定など、今後、さらに検討しなければならない事項が数多くあります。

今秋には第2回の検討会を開催し、事業の推進に必要な事項について検討を進めていきたいと考えています。

## 寄稿

# 市民が水質調査をするということ

千葉県環境研究センター 小倉久子

前回は、自分の眼(手)で水環境を調べることがだいじだということをお話しましたが、今回は実際に調べる方法について

ご説明します。

(1) まず、文字通り「見る」(観察)こ

とです。川や池などの水を採取したら、透明の容器に入れて、色、にごりぐあい、ゴミの有無、生きものの有無、などを観察しましょう。

水を持ち帰るには、ペットボトル(よく、よく、洗ってからお使いください)がいいのですが、観察する時にはジャムのビンが便利です。側面から見ると、ちょうどガラスと水で凸レンズのようになり、ミジンコなどが肉眼でも見やすくなるのです。

(2) 次に、水のごりぐあいを数字で表すために、透視度を計りましょう。(1)の「にごりぐあい」は定性的なものなので、他の水と比較しにくいことが欠点です。それに対して、透視度は数字で表せるので(定量的)、比較が簡単です。川の水が流れていくうちに、どのくらいきれいに(汚く)なっていくのかもわかります。

透視度は透視度計で計ります。透視度計は高さ(深さ)が30 cmまたは50 cmの平底の大きな目盛り付き試験管で、底に二重線の十字が書かれた白い円板が入っています。

透視度はもともと、工場排水の検査に使われた指標なので、どちらかというと濁っている水を計るのに適しています。海や湖では、似た言葉で「透明度」という指標を使います。こちらは直径30 cmのセッキ板という錘をつけた白い円板を水の中に下ろしていき、見えなくなった水深を計ります。どちらも、数値が大きいほど水は透明であることにご注意ください。

(3) 今度は水質です。市民のみなさんが簡単に自分で分析しやすいのは、簡易試験のキットを用いることでしょう。

最も簡単で安価なのは試験紙です。pH試験紙(酸性・アルカリ性を調べる)が有名ですが、尿検査と同じような形で硝酸性窒素、アルカリ度、硬度等を計る試験紙もあります。ただし、pH以外はやや精度が

劣ります。もう少し精度が高いものというと、商品名でいうとパックテスト(共立理化学研究所)やシンプルパック(柴田科学)があげられます。いずれも、高価な機械や熟練技術が不要で、特に採水したその場ですぐに結果が出ることは、大きな利点です。その代わり、得られた値は当然ながら、公定法よりも大まかになります。そのような簡易法の限界を知った上で使えば、メリットは十分あります。

項目としては、COD(低濃度用もある)、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、アンモニア性窒素、りん酸性りん(低濃度用もある)、鉄、残留塩素などがあります。硝酸性窒素などの栄養塩類もよく用いられますが、結果の表示が「硝酸イオン( $\text{NO}_3^-$ )」なのか「硝酸性窒素( $\text{NO}_3-\text{N}$ )」なのかをよく確認してください。できれば「硝酸性窒素」をお使いになることをお奨めします。

なお、簡易法でも、きちんと操作すれば(特に、吸い込む水量があまり少なくないように、CODの時間や温度を守る、など)それなりに信頼できる値になりますから、説明書をよく読んできちんと測定しましょう。

#### (4) 電気伝導度(EC)

電気伝導度(EC)というのは、電流の流れやすさを表します。すなわち、塩類がたくさん溶けている(=電気が流れやすい)かどうかを調べるもので、電気伝導度計を使います。

これでわかるのは、水の種類が同じか、違うか、ということだけで、どういう物質がふくまれているのかは、分かりません。例えば、川の途中からECが大きく変化したとしたら、どこかで違う種類の水が流入している証拠です。また、湧水調べだったら、同じ層から出てくるのか、違う層なのかがわかります。

**“大津川を甦らせ、再びホタルの里に”を夢に、昨年4月に発会  
まだ、ひよこの「大津川をきれいにする会」です  
...どうぞよろしく**

私たちの会の活動の中心になっている大津川は、鎌ヶ谷市佐津間の白幡橋を起点として北流、さらに柏市を北に流れて手賀沼の南西部に注いでいる、手賀沼水系に属する全長約8kmの1級河川です。(鎌ヶ谷市佐津間の白幡橋より上流は、準用河川・普通河川となります)

東京近郊にありながら、この大津川を中心に両側には水田・畑・斜面林と、日本の原風景が残され、水量や数は減少しましたが、なお小さな湧水池が点在していました。

また、幸いにも「日本一汚れた沼」手賀沼が、北千葉導水事業の完成(平成12年度より、利根川の水を一部手賀沼に注水する)により、汚染度が回復傾向に転じました(平成14年度、全国湖沼水質ワースト9位。15年度、同6位)。

しかし、手賀沼汚染の元凶が、家庭排水を中心とする大堀川とこの大津川の主要2河川であることには変わりなく、水質汚染もさることながら、ゴミによる汚れも目立ちました。

そこで、私たちは昨年4月、“大津川を甦らせ、再びホタルの里に”を夢に、かって清流といわれた大津川を少しずつでもきれいにしていきたい、と「大津川をきれいにする会」を発足させました。

現在、千葉県でも(1)大津川の洪水を防ぐため川幅を広げ、できるだけ自然に近い形の堤防 堤防上には遊歩道 を築くと

いう「大津川多自然型川づくり」事業、(2)「自然の水循環」を重視し、雨水浸透マスや透水性舗装を増やし、下水道普及率を高める計画、の2つを進めています。

この機会に、流域在住の他のの方々にも本会の発会の趣旨と活動についてご理解していただくと共に、夢の実現に向けてさらに会の輪を広げ活動を続けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

会員数は、男性34名(うち2名小学生)、女性16名、計50名(平成17年10月23日現在)。

なお、本会の主な活動と入会・問い合わせ先は次のとおりです。

#### 1, 主な活動

大津川の清掃活動...年8回(原則として、実施月の第3日曜日)

研修親睦行事...年4回(土曜日)散策ウォーキング、講演会、新年会など  
会報「せせらぎ」の発行...月1回

#### 2, 会費

年額、1世帯(小学生以上)当たり1口  
(1,500円)

#### 3, ホームページ・アドレス

<http://www.geocities.jp/tegawalk/seseragi/>

#### 4, 入会の申込み・問い合わせ先

〒277-0941 柏市高柳 1113-121

Te1・Fax04-7193-3218 中村明

(中村 明 記)



## 創立 25 周年を迎えた 我孫子の文化を守る会

我孫子の文化を守る会はこの度創立25周年を迎えた。5年も持てばよい、などと言われて、思えば1/4世紀の年月を頑張ったことになる。

記念事業ということで、我孫子のシンボル手賀沼の浄化再生を願い『歌集 手賀沼短歌』を公募、刊行することになった。すでに同じ趣旨のもと、『手賀沼百人一首』、『句集 手賀沼』を公募刊行した経験もあり、市内外の短歌結社はもちろん、ひろく一般に呼びかけ、また短歌を初めてつくる方のための学習会を2度開いた。

本年5月、応募入選者200人の作品をまとめ、歌集とした。同時に手賀沼ゆかりの文化人の歌48首を巻末に掲載した。

因みに最優秀作品は次の通り

夢たく生きよ筑波の嶺見ゆと楚人冠  
の句碑冬晴れの中に 藤田貴佐代

毎年恒例の文化講演会は、本年この歌集の選者二名による講演を行い、あとの祝賀会でなごやかに交流が行われた。

なお、この歌集の作品は、沼畔の文学掲示板に順次展示される。

次に本会が毎年実施して好評なのが、史跡文学散歩である。6月、9月、11月、3月に市内のほか近隣市町村、また茨城県、さらには東京へかけて散歩を実施し、本会役員が交代で解説案内に当たっている。参加費は会員無料、非会員500円、ただし

東京の場合は別途参加費が必要。

また隔月に放談くらぶ(研修会)を実施している。会員有志が交代で自由テーマについて毎回1時間ずつ2人が語ったあと質疑、意見交換を行う。8月のテーマは「手賀沼ゆかりの文化人の歌」、「手賀沼でヨットを楽しむ」であった。

また白樺文学館など他団体と共催で講演会を実施し、8月には「志賀直哉文学紀行」のテーマでスライドによる講演があった。

最近の重要テーマは嘉納治五郎別荘跡の保存活用で、五団体が何度か協議を行い、来訪者のための新しい観光拠点としてボランティアによる運営を進め貴重な景観も同時に守るべく市当局にも意見書を提出した。

本会では4、7、10、1月に会報を発行しており、史跡文学散歩などの行事予定を具体的に会員に知らせている。連載記事として「我孫子のむかしばなし」(最近号では「天満宮、千年の歴史」)をのせており、また別刷「あびこだより」で自由寄稿文をのせ、会員の紙上交流に努めている。

さて本会は25年にわたる地域での文化活動が認められ、千葉県郷土史研究連絡協議会(郷土史研究における県内屈指の歴史を持つ団体で会長は元千葉大教授川村優博士)の第33回総会において「郷土研奨励賞」を受け賞状ならび楯を授与される栄に恵まれた。今後も更に精魂を傾け、文化活動に精進せねばと考えている。(三谷和夫 記)

『美しい手賀沼を愛する市民の連合会』は次の団体により構成されています。またホームページもご覧ください。  
湖北座会、ふれあい手賀沼の会、流山市立博物館友の会、NPOせっけんの街、水と土・手賀沼の会、我孫子野鳥を守る会、我孫子青年会議所、我孫子の文化を守る会、手賀沼にマシジミとガシャモクを復活させる会、大堀川の水辺をきれいにする会、手賀沼漁業協同組合、生活協同組合我孫子生活センター、ホームサイエンス倶楽部、自治労我孫子市職員組合、沼南 手賀沼ボランティア会、手賀沼の浄化を考える会、我孫子市消費者の会、自治労柏市職員組合、自治労流山市職員組合、自治労鎌ヶ谷市職員組合、岡発戸・都部の谷津を守る会、我孫子の景観を育てる会、大津川をきれいにする会

URL.....[http://www.geocities.jp/natureland\\_6252/](http://www.geocities.jp/natureland_6252/)

サイト名.....美しい手賀沼を愛する市民の連合会



